

宮城いきいき便り



赤、青の2チームがそれぞれ6枚の円盤を投げ、ポイントに近づいているかを競う「ディスコン」を楽しんだ石巻地区大会

心地よい汗流しプレー 生きがい健康づくり地区大会

宮城いきいき学園の卒業生が企画する「生きがい健康づくり地区大会」が先ごろ、学園の4校がそれぞれ所在する各地区住民を対象に行われた。

石巻地区大会では、東松島市民体育館でベタンク、ディスコンといったニュースポーツの実技体験や、同体育館から鷹来の森運動公園までのウォーキングを実施。学園の在校生と卒業生、地区住民ら約180人が参加し、好天の下、心地よい汗を流しながらプレーを楽しんだ。



青空の下、多くの人が参加したウォーキング

学園では、卒業生全員を「生きがい健康づくり推進協力員」に委嘱。卒業後も2年間の学園生活で得た知識や経験を生かし、地域の高齢者のリーダーとして継続的に活躍してもらっている。本大会は、その活動の一つ。本年度は、悪天候のため中止となった登米・栗原地区を除き、石巻地区のほか大崎と気仙沼・本吉の両地区でも各種スポーツ大会を開催。仙南地区では尚絅学院大の支援を受け、基調講演や健康体操の実践体験などがあった。



多彩なステージ発表が繰り広げられた大崎校の文化祭

多くの感動与える場に

いきいき学園大崎校の文化祭

「未来に向けて・出会い・生きがい：心は現役」をテーマに、宮城いきいき学園大崎校の文化祭が10月、同校の学習会場となっている大崎市古川の大崎生涯学習センター（パレットおおさき）で開かれた。

大崎校の文化祭は、ことしで22回目を迎えた。開会式では全員で「宮城いきいき学園の歌」を斉唱。副学園長で県社会福祉協議会の高橋信宏副会長が「練習や活動の成果の発表が、大勢の来場者に多くの感動を与え、文化祭をきっかけに地域の皆さんとの交流が一層深まることを期待する」とあいさつした。来賓を代表し、大崎市長の代理として高橋英文副



じっくりと作品を鑑賞する来場者

市長が祝辞を発表された。卒業生による踊りや寸劇などの披露もあり、会場は大いに盛り上がった。当日は学園生や同世代の人だけでなく、若い世代も大勢来場し、演技や作品を楽しんでいた。学園初の親子同級生の佐々木ツネ子さん（90）と長女の美枝子さん（67）が学園生を代表して体験発表を行い、来場者から感激の声が多く聞かれた。

市長が祝辞を発表された。卒業生による踊りや寸劇などの披露もあり、会場は大いに盛り上がった。当日は学園生や同世代の人だけでなく、若い世代も大勢来場し、演技や作品を楽しんでいた。学園初の親子同級生の佐々木ツネ子さん（90）と長女の美枝子さん（67）が学園生を代表して体験発表を行い、来場者から感激の声が多く聞かれた。学園の文化祭は、日頃の学習成果などを総合的に発表する場。年間を通して最も力を入れて行っている行事であり、県内5校ごとに順次開かれた。学園の活動を広くPRする場にもなっている。